

横浜駅の改修状況について

横浜駅の改修状況について

1 横浜駅の現状の課題と対策について

市営地下鉄横浜駅は、開業当初は一日あたり約1万8千人であった乗車人員が、現在では約6万5千人を抱える主要駅に発展しています。

一方、昭和51年の開業から34年が経過し、資産の有効活用、混雑緩和、サインやバリアフリー対策などが課題となっており、計画的な整備・改修が必要となっています。

- (1) 地下1階コンコースにおいては、これまでの消防法などの問題点について解決が図られたことから、資産の有効活用により増収を図るため、店舗設置のための整備を行います。
- (2) 地下3階においては、ホームドアの設置により視認性が低下している軌道内の広告看板のリニューアルを行い、広告媒体の価値を高めます。
- (3) 今後は、駅ホームの混雑緩和のためのホームの延長や乗換動線の段差解消などについても検討を進めます。

2 これまでの取り組み

鉄道とバスの乗換案内、観光案内等、お客様への総合的な案内機能を充実させるため、以下の取り組みを行いました。

- (1) 大型パネルによる案内サインを4箇所設置 【平成21年12月】
- (2) お客様サービスセンターを地下2階JR・相鉄連絡改札口前に新設 【平成22年5月】

〔案内サイン設置状況写真（地下2階 改札内コンコース）〕



〔観光スポット案内新設状況写真〕
（地下2階 JR・相鉄連絡改札前）

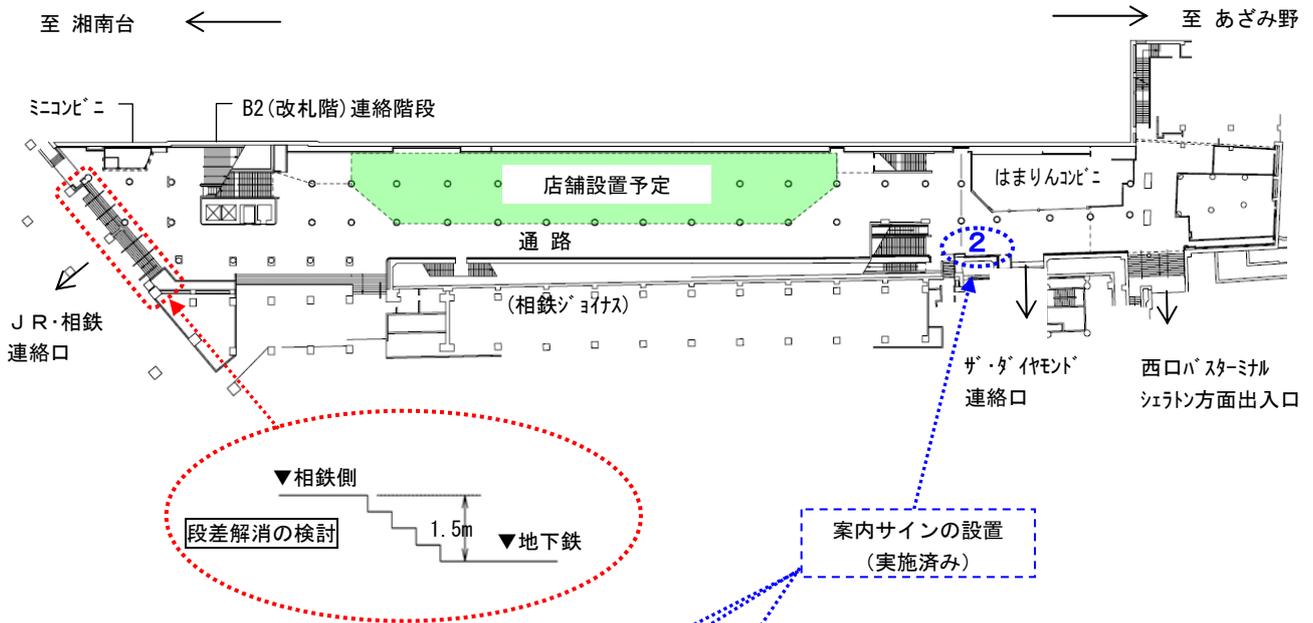


〔お客様サービスセンター新設状況写真〕
（地下2階 JR・相鉄連絡改札前）

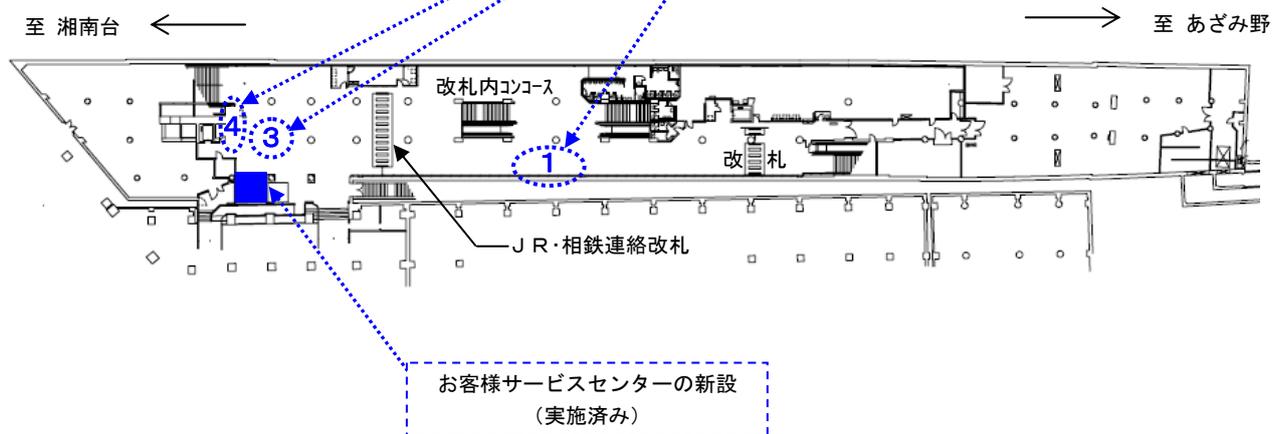


横浜駅構内図

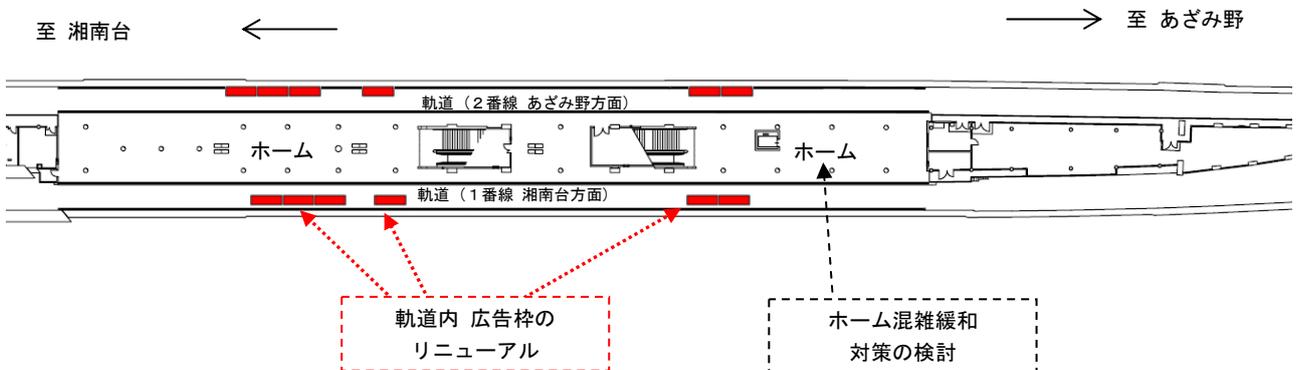
【図面1】地下1階



【図面2】地下2階



【図面3】地下3階



3 店舗事業による資産の有効活用について（地下1階 コンコース）

(1) 店舗事業の概要

ア 有効活用箇所

- (ア) 場 所 地下1階コンコース 2,600㎡
 (イ) 店舗面積 780㎡

イ 事業スケジュール

年月	事業者関係	交通局工事
21年5月	事業者の募集（5月14日～7月15日）	
8月	事業者の選考（8月～9月） ※ 外部有識者を含む委員会	
9月17日	事業予定者の決定 （兼松コミュニケーションズ株式会社）	
11月19日	予約契約締結（事業者決定）	
22年3月		既存店舗、定期券発売所の移設
5月		・移設店舗リニューアルオープン（3月25日） ・お客様サービスセンターオープン（5月10日） 店舗部分の設備インフラ整備（5月～8月） ・防災、給排水、電源設備、天井解体
8月	構内営業契約（本契約）締結	店舗前通路改修工事（8月～11月）
9月	店舗内装工事（9月～11月）	
11月	店舗竣工・開業	店舗前通路竣工

ウ 事業者について

(ア) 事業者

企業名 兼松コミュニケーションズ株式会社

商社の兼松株式会社のグループ企業として、携帯電話を中心とした移動体通信機器の販売、加入契約取次を主要な事業としている。

(イ) 事業内容

兼松コミュニケーションズ株式会社がフランチャイズとなって、ドコモショップ及びツタヤの店舗を営業。

ドコモショップ	約220㎡	携帯電話機器の販売、各種アフターサービス
ツタヤ	約560㎡	CD・DVDレンタル、書籍・雑誌販売

エ 事業収入

- (ア) 平成22年度 構内営業料 28,201千円（平成22年9月～平成23年3月）
 (イ) 平年度 構内営業料 48,346千円（平成23年度以降）

(2) 整備の内容

ア 整備区分

交通局[インフラ整備]	事業者[店舗整備]
(ア) 防災設備改修 （防火シャッター、スプリンクラー、排煙設備等）	(ア) 店舗内設備工事 （空調、照明、給排水配管、衛生器具等）
(イ) 店舗区画へのインフラ整備 （給排水、換気、電気設備等）	(イ) 店舗内装工事 （床・壁・天井仕上げ、什器類等）
(ウ) 店舗前通路改修 （床・天井仕上げ改修、照明改修等）	

イ インフラ整備費

約3億1,000万円

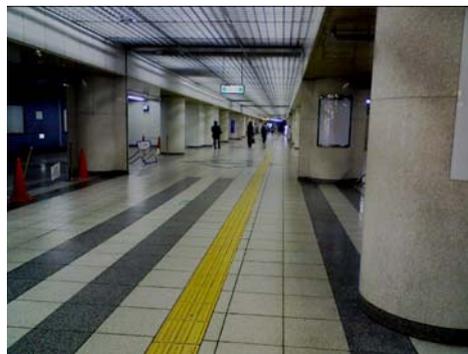
種 別	金額 (千円)
防災設備工事	138,452
建築工事	91,395
電気設備工事	41,083
機械設備工事	24,950
設計費	14,259
合 計	310,139

ウ 店舗整備費

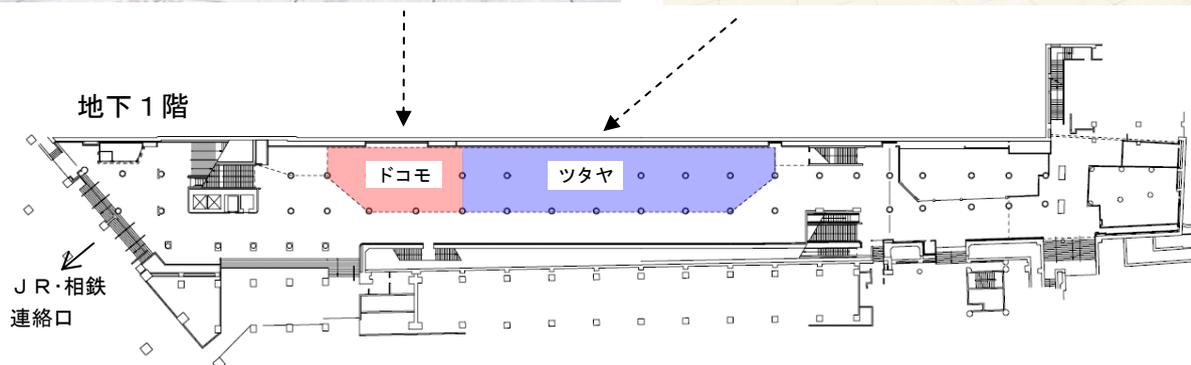
店舗は兼松コミュニケーションズ株式会社の負担により整備。

【従前のコンコースの状況及び店舗完成後イメージ】

(従前のコンコースの状況)



(店舗完成後イメージ)



4 軌道内広告看板のリニューアルについて（地下3階 ホーム階）

(1) 整備概要

ア 対向壁の改修

線路内の壁面（青色タイル部分）は洗浄を行い、上部のパネル（黄色部分）は既存面にシート貼りを行うことにより、落ち着いたイメージにします。

イ 既存広告面の改修

上下線合わせて58面あった既存の広告面については、進行方向に流れる「風」をイメージしたデザインのパネルで覆い、一部には方向表示などの案内サインを入れます。

ウ LED電照広告の新設

従来の蛍光灯からLEDの電照広告に替え、広告掲出の需要を見極めながら、一番目につきやすい階段付近など視認性の高い場所を選んで、12面新設する予定です。

エ 整備費

約36,000千円

(2) 収入見込

局収入 年間約7,000千円

(内訳) 年間 582,120円/面 × 12面 = 6,985,440円 (管理費を含む)

(3) スケジュール

- ・ 工事期間 平成22年5月から6月末まで
- ・ 広告掲出開始 平成22年7月から



【新設電照広告枠サイズ】



【既存広告面のサイン例】

